【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和7年6月27日(2025.6.27)

【国際公開番号】WO2024/100703
【出願番号】特願2024-556836(P2024-556836)
【国際特許分類】
H04N 7/15(2006.01)
【FI】
H04N 7/15 170

【手続補正書】
【提出日】令和7年4月14日(2025.4.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
また図１において、ＨＭＤＧ１は、携帯情報端末Ｓ１としてのスマートフォンと近接無線通信又はＬＡＮ通信によってペアリングがなされている。ＨＭＤＧ１とスマートフォンとの間で、音声データ、文字メッセージデータ、及び画像データの送受信が可能である。携帯情報端末はスマートフォンに限定されず、ＨＭＤとペアリング可能な電子デバイス、例えばウェアラブル端末、タブレット、スマートスピーカでもよい。ウェアラブル端末には、スマートウォッチ、ワイヤレスイヤホン、ワイヤレスヘッドフォンを含む。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
映像表示装置であって、
プロセッサと、
ディスプレイと、
ユーザが前記映像表示装置を介して受信する仮想空間における会話に参加しているかを検出する参加検出センサと、
前記ユーザに対応する自己アバターが存在する仮想空間の映像情報、他のユーザに対応する他アバターの映像情報、及び前記他のユーザの音声情報を外部機器から受信する第１通信機と、
を備え、
前記プロセッサは、
前記仮想空間の映像情報及び前記他アバターの映像情報に基づいて、前記仮想空間に前記他アバターを配置した映像を生成して前記ディスプレイに表示させ、
前記ユーザが前記自己アバターを前記仮想空間に配置したまま前記会話に参加していない一時離席状態であるか否かを、前記参加検出センサからのセンサ出力に基づいて判断し、
前記一時離席状態中に、前記音声情報に基づいて前記他アバターが前記自己アバターに話しかけていると判断すると、前記ユーザに通知する制御を実行する、
映像表示装置。

【請求項２】
請求項１に記載の映像表示装置において、
前記映像表示装置は、前記ユーザが存在する外界を撮像するカメラを更に備え、
前記プロセッサは、
前記映像表示装置の制御モードとして前記カメラが撮像した前記外界の映像を前記ディスプレイに表示するスルーモードと、前記ディスプレイに前記映像情報を表示する通常モードと、を備え、
前記スルーモードの使用中は前記一時離席状態と判断し、
前記一時離席状態中に、前記他アバターが前記自己アバターに話しかけていると判断すると、前記スルーモードを解除して前記通常モードに遷移させる、
映像表示装置。
【請求項３】
請求項１に記載の映像表示装置において、
前記映像表示装置は、スピーカを備え、
前記プロセッサは、
前記映像表示装置の制御モードとして前記スピーカから前記音声情報に基づく音声を出力するスピーカモードと、前記ディスプレイに前記映像情報を表示する通常モードと、を備え、
前記スピーカモードの使用中は前記一時離席状態と判断する、
映像表示装置。
【請求項４】
請求項１に記載の映像表示装置において、
携帯情報端末に無線通信接続を行う第２通信機を更に備え、
前記プロセッサは、
前記一時離席状態中に、前記音声情報に基づいて前記他アバターが前記自己アバターに話しかけていると判断すると、前記通知を前記携帯情報端末に送信させる制御を前記第２通信機に対して実行する、
映像表示装置。
【請求項５】
請求項４に記載の映像表示装置において、
前記プロセッサは、
前記携帯情報端末に前記映像情報及び前記音声情報の転送を行い、かつ前記携帯情報端末から前記ユーザの音声及び前記自己アバターの注視方向を指定するリモコンコマンドを受信して前記外部機器に転送するリモコンモードを実行する、
映像表示装置。
【請求項６】
請求項４に記載の映像表示装置において、
前記映像表示装置は、ヘッドマウントディスプレイであって、
前記参加検出センサは、前記ヘッドマウントディスプレイの着脱検出センサである、
映像表示装置。
【請求項７】
請求項１に記載の映像表示装置において、
前記参加検出センサは、前記ディスプレイに向かい合う実空間を撮像するインカメラであって、
前記プロセッサは、
前記インカメラの画像に前記ユーザが撮像されていなければ前記一時離席状態であると判断する、
映像表示装置。
【請求項８】
配信サーバと、映像表示装置とを通信接続して構成される映像表示システムにおいて、

前記配信サーバは、
第１ユーザが操作する映像表示装置に、前記第１ユーザに対応する自己アバターが存在する仮想空間の映像情報を配信すると共に、第２ユーザに対応する他アバターであって前記仮想空間に存在する前記他アバターの映像情報及び前記第２ユーザの音声情報を前記映像表示装置に配信し、
前記映像表示装置は、
プロセッサと、
ディスプレイと、
前記第１ユーザが前記仮想空間における会話に参加しているかを検出する参加検出センサと、
前記仮想空間の映像情報、前記他アバターの映像情報、及び前記音声情報を受信する通信機と、
を備え、
前記プロセッサは、
前記仮想空間の映像情報及び前記他アバターの映像情報に基づいて、前記仮想空間に前記他アバターを配置した映像を生成して前記ディスプレイに表示させ、
前記第１ユーザが前記自己アバターを前記仮想空間に配置したまま前記会話に参加していない一時離席状態であるか否かを、前記参加検出センサからのセンサ出力に基づいて判断し、
前記一時離席状態中に、前記音声情報に基づいて前記他アバターが前記自己アバターに話しかけていると判断すると、前記第１ユーザに通知する制御を実行する、
映像表示システム。
【請求項９】
映像表示装置の制御方法であって、
ユーザに対応する自己アバターが存在する仮想空間に、他のユーザに対応する他アバターを配置した映像情報及び前記他のユーザの音声情報を外部機器から受信するステップと、
前記仮想空間の映像情報及び前記他アバターの映像情報に基づいて、前記仮想空間に前記他アバターを配置した映像を生成してディスプレイに表示させるステップと、
ユーザが前記仮想空間における会話に参加しているかを検出する参加検出センサからのセンサ出力に基づいて、前記ユーザが前記自己アバターを前記仮想空間に配置したまま前記仮想空間における会話に参加していない一時離席状態であるか否かを判断するステップと、
前記一時離席状態中に、前記音声情報に基づいて前記他アバターが前記自己アバターに話しかけていると判断すると、前記ユーザに通知するステップと、
を含む映像表示装置の制御方法。